

イツァーク・パールマン。 障がいを乗り越え世界中で 愛されるヴァイオリニストのはじまりの物語

お子様への
プレゼントにも最適!



訳: 廣津留すみれ

ヴァイオリニスト。
テレビ朝日『羽鳥慎一モーニングショー』
レギュラー出演。

この本が多くの
子どもたちの
夢となりますように。

廣津留すみれ「訳者あとがき」より



シュナイダー・ファミリーブック賞は、2004年に創設された米国図書館協会が主催する賞のひとつ。障がいをもつ体験を芸術的な表現としてあらわした児童書を対象に選ばれる。偕成社『ぼくは川のように話す』(2021受賞)など。

イツァーク ヴァイオリンを愛した少年

対象年齢：6歳頃～

文: トレーシー・ニューマン
絵: アビゲイル・ハルピン
訳: 廣津留すみれ

A4変型判・上製・40頁 定価1980円(本体1800円+税10%) 【ISBN】978-4-276-21330-2

ヴァイオリンの巨匠、イツァーク・パールマンの少年時代を明るく伸びやかなイラストとともに描いた絵本。

この翻訳を幼いころから彼の演奏に刺激を受けてきたという気鋭のヴァイオリニスト、廣津留すみれが担当。イスラエルのテルアビブで生まれたイツァークは3歳でヴァイオリンに目覚めるが、4歳の時にポリオ(小児まひ)にかかり、下半身が不自由になってしまう。それでも夢を諦めずに努力を続け、13歳の時にアメリカのテレビ番組「エド・サリバンショー」のオーディションで栄冠を勝ち取り、番組に出演して絶賛を浴びるまでを描く。

文: トレーシー・ニューマン(Tracy Newman)
「...Is Coming」シリーズをはじめ、アメリカで多数
絵本を執筆している作家。コネチカット州在住。

絵: アビゲイル・ハルピン(Abigail Halpin)
「Finding Wild」をはじめ、子ども向けの絵本などを手
がけるイラストレーター。メイン州在住。

訳: 廣津留すみれ(ヒロツル・スマレ)
ヴァイオリニスト。大分市出身。12歳で九州交響楽団と共演。ハーバード大学(学士課程)卒業、ジュリアード音楽院(修士課程)修了。大学在学中より世界的チェリストのヨーヨー・マと度々の共演を経て、米国にて演奏活動を拡大。『ハーバード・ジュリアードを首席卒業した私の「超・独学術」』(KADOKAWA)など著書多数。テレビ朝日『羽鳥慎一モーニングショー』レギュラー出演。成蹊大学客員講師・国際教養大学特任准教授。2022年2月に初のCD『メンデルスゾーン: ヴァイオリン協奏曲+シャコンヌ』をリリース。



音楽之友社

音楽の力を信じ 音楽の心を伝えたい

<https://www.ongakunotomo.co.jp/>

〒162-8716 東京都新宿区神楽坂6-30 TEL.03-3235-2151(営業) FAX.03-3235-2148

